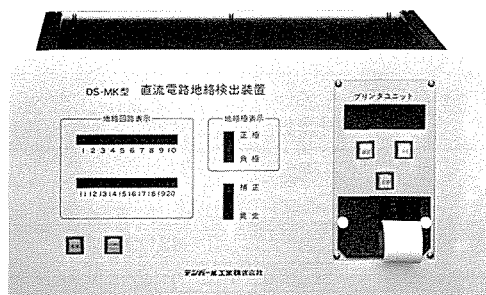


直流電路地絡検出装置 (最大20回路用)

DS-MK型

■仕様 (下図を参照して下さい。)

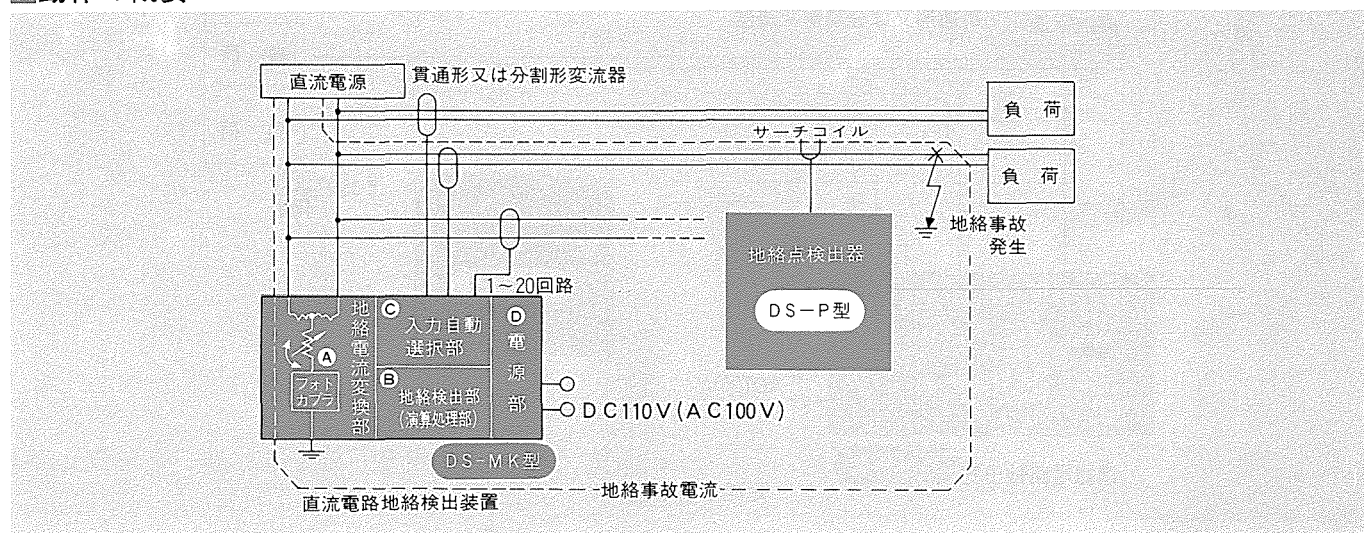
各 部 名	定 格 仕 様	
①地絡電流変換部	発振周波数	11Hz(正弦波)
	地絡電流表示	最大表示33mA
②地 絡 検 出 部 (演 算 処 理 部)	地絡レベル	最大表示99
	地絡検出能力	9.9kΩ(対地静電容量50μF以下)
	バンドパスフィルターの中心周波数	11Hz
	アンプフィルター総合ゲイン	70dB以上
③入力自動選択部	入力数	1～20
	選択時間	1秒/1入力
④電 源 部	DC110V(AC100Vも可)	
本体標準価格(円)	1,330,000	



DS-MK型

対地分布静電容量の多い設備(大容量変電所等)では、上記仕様を多少変更する場合があります。

■動作の概要



図のように、地絡事故が発生すると 直流電路地絡検出装置 が次の順序でどの電路(分岐回路)に地絡事故が生じているかを指示します。

- ①回路に地絡が発生すると、その回路に設置した直流地絡継電器64Dで地絡事故を検出します。
- ②直流電路地絡検出装置(DS-MK)が始動すると同時に64Dの接地を切り離します。DS-MKの 地絡電流変換部 で地絡事故電流を11Hzの正弦波的脈流に変換します。
- ③直流電路地絡検出装置の 入力自動選択部 が、回路番号を1秒毎に測定しながら、変流器からの信号を無接点スイッチで切り替えていきます。
- ④無接点スイッチで選択されて来た信号は、地絡検出部 で増幅、フィルタし、電路の容量性のものか地絡事故による抵抗性のものかを判別するように、地絡電流変換部の信号によって同期整流します。信号が一定レベルを越えると、地絡回路表示の発光ダイオードを点灯し、保持します。記録の場合は、事故発生月日時刻・地絡抵抗値や極性を印字したのち、全回路番号と地絡レベルを印字します。
- ⑤次に、別売の携帯用の地絡点検出器(DS-P型)を使用しますと、地絡事故電路のどこに地絡点があるかが探索できます。

一般に直流制御回路には、直流地絡継電器64Dが設置されています。本装置で検出操作するときは、直流地絡継電器64Dの接地は切り離す必要があります。